

吉崎の四季をのぞいてみませんか。



いつまでも残したい風景、
厳かな神事があります。



弁天島からの夕日

弁天島(弁天岬)は福井県・石川県境にある小島で、頂上に小さな祠があり、祠の周りに自生するススキの葉を切り取り、利き手でない方の手で祠の格子戸の格子に結ぶと願いが叶うとの言い伝えがあります。百人倒し・七人倒しの洞窟もあります。



吉崎こなご

4月下旬～6月上旬が旬の吉崎小女子は、身がしっかりしていて味が良いと言われています。水揚げ直後に釜でし、浜辺で天日干しをします。蓮如忌(毎年4/23～5/2)期間中は、吉崎のお店で買えます。



よしざき おやま
吉崎御山

吉崎の千歳山は通称「御山」と呼ばれ、1471年(文明3年)に浄土真宗第8代法主の蓮如がこの地に道場を開きました。それ以後、蓮如の布教活動の拠点となり、吉崎御坊と呼ばれるようになりました。



ごえいどうちゆう
御影道中

京都から吉崎まで片道240kmの道を7日間かけて歩き、蓮如さんの御影を運ぶ行事です。往路は 御下向(ごげこう) 復路は 御上洛(ごじょうらく)と呼ばれます。



ごほう
GOBOU市

毎年4/23～5/2にかけて蓮如忌が開催され、この時期の土日にクラフト&アンティークマーケットが開かれています。



よしざきかくら
吉崎神楽

蓮如上人がいた頃の約500年前から続く行事で、毎年吉崎春日神社秋の例祭にあわせて、吉崎地区内を練り歩きます。

散策した後に
甘いお菓子を
めしあがれ!

昔からあるスイーツと醤油を味わってみませんか。

吉崎けんけら

大豆の粉を水あめで固め薄く伸ばして干した福井県の銘菓。吉崎のけんけらは大きく厚いのが特徴。(残念ながら今は作られていません...)



くろねじ

米ふかし(ポン菓子)をきな粉と黒砂糖で固めた柔らかいお菓子。



鬼面まんじゅう

蓮如忌の期間限定発売「酒まんじゅう」。お酒の香りと、あんこの絶妙な味わいです。



シタツミ醤油

山代温泉に滞在した魯山人は吉崎の醤油や味噌を好んだそうです。



よしざきには歴史という名の
宝物がいっぱいある。

よしざきは、福井県の最北端にあります。
日本海・北潟湖、そして浄土真宗中興の祖「蓮如」が吉崎御坊を開いたところで、数々の歴史や伝説が残るまちです。



吉崎 お散歩
MAP

吉崎には7つの伝説があるんです

～ 蓮如上人 七不思議 ～

① お腰掛け石

日照りが続いたことを心配し、いつも腰掛けていた石近くの水をすくい念仏を唱えながら振りまくと、雨が降り出したと言います。今でも蓮如上人のぬくもりが残り、大雪の時でも一番先に雪が解けると言われています。

② お花松

本堂にある仏様のお花松を庭に挿し木し、お念仏を唱え「この松が根付いたら吉崎が栄える事間違いない」とおっしゃいました。松は根付き、江戸末期まであり、御山に初代の古株があり、その横に2代目松があります。

③ 片葉の葎

蓮如上人が吉崎を退出される夜、お見送りに集まった村人達が葎が生い茂るなか蓮如上人のお顔を拝みたいと背伸びすると、葎の葉が片方に寄りました。それから吉崎の葎は片葉になったといいます。

④ 吉崎こなご

不漁で困っている漁民を救うため、小舟で北潟湖に出て、こよりをちぎって湖面に投げると白い小魚「こなご」となって繁殖し豊漁となりました。これが「吉崎こなご」の由来です。

⑤ 火消し蟹

吉崎御坊が火災になり、蓮如上人を慕っていたカニ達が無数に集まり泡で火を消しました。吉崎に生息するカニはその時の火でハサミが赤く染まっています。

⑦ 白鹿の道案内

京から吉崎に向かった蓮如上人一行が道に迷い、大鹿が吉崎の御山へ導きました。そこに座っていた白鬚の老人が「ここに御坊をお建てなさい」と告げて消えました。鹿島明神の化身だったといいます。

⑥ 嫁おとし肉付面

姑が鬼の面を付け、信心深い嫁の吉崎参りを止めさせようとしたが面が離れなくなり、蓮如上人の前で念仏を唱えると、鬼の面は悪行の肉を付けて顔から離れたと言います。

お筆草

村人が南無阿弥陀仏の名号を蓮如上人に書いてもらうため、筆のかわりに浜草の根を持ってくると、蓮如上人はそれを束ねて筆にして名号を書きました。それから浜草を筆草と呼ぶようになりました。